

2019年
4月10日

No.245

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
 TEL・FAX 077-545-5154

近畿地協第4回常任幹事会

組合だから言える生の声を集めて 働きやすい職場に

4月6日、近畿地協第4回常任幹事会が大阪市の金融労連西日本事務所で開かれ、近畿各地から11人が、さざなみネットから山崎書記長が参加しました。3月9日から10日に行われた春闘学習会で配布された全労連「働き方改革（総論＋労働時間関係）」学習資料を材料して「ミニ学習会」が行なわれました。概要を記載します。

働きやすい職場をつくろう

4月から労働時間や休暇のルールが変わりました。政府の「働き方改革」の中には「毒」もありますが、新法の内容をつかみ、悪法は職場に絶対に入れさせず、使える法令は大いに活用して、働きやすい職場を作っていきましょう。

長時間過密労働をなくそう

労働時間の原則は1週40時間、1日8時間。これを超えて働かせるには、労使協定（36協定）の締結と、労働基準監督署への届け出が必要です。

労使が合意しても超えてはならない残業上限が法定されました。（詳細上図）

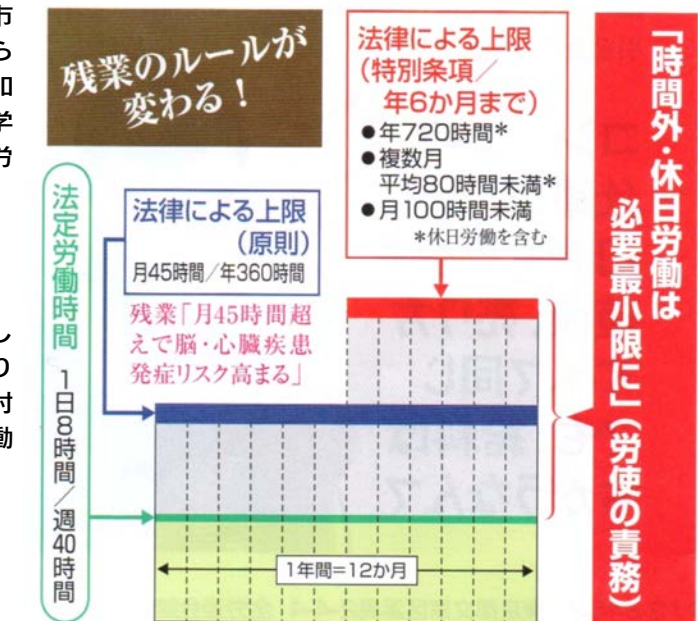
しかも「上限までOK」でなく、残業は労使の責務で「最小必要限に」とされています。健康と生活を守る協定にしましょう。

インターバルで生活時間と睡眠確保 年休取得の改善も

就業から翌日の始業までに一定の休息時間を確保する「インターバル」制度の導入が事業主の努力義務となります（労働時間等設定改善特別措置法）。年次有給休暇の取得促進ルールも始まります。生活、睡眠、余暇を確保しましょう。

参加者の職場の36協定を持ち寄り、交渉の状況や職場の実態を出し合い、問題点など意見交換しました。

仕事が終わらないのは、能力の問題なのか、時間外手当の問題のかなど、組合だから言える生の声を集めて、働きやすい職場にするため交渉していくことを確認しました。



さくら 岩波 美智子さん 画



2019年
国民春闘

大幅賃上げ・長時間労働是正・改憲ストップの実現を

安倍政権下で実質賃金は5%も低下、長時間労働、ただ働きに歯止めがかかっていません。低賃金・不安定雇用の非正規労働者が増加し続けています。一方、企業の内部留保は425兆円に達し、第2次安倍政権以降約3割も増加しています。

それだけではありません。安倍政権は「憲法改正にいよいよ挑戦し、新しい国づくりに挑んでいく」と改憲に固執しています。

また「全世代型社会保障の推進を図る」として、消費税10%への引き上げを予定通り行うと宣言しました。過労死ラインの残業月100時間未満の合法化、高度プロフェッショナル制度などの労働法の規制緩和も強行しています。

「8時間働けば平和に人間らしく暮らせる」社会と職場をつくり、労働者の生活を守り、経済の好循環のためには「大幅賃上げが必要」との声を職場の内外で世論にすることが必要です。

金融機関の春闘は交渉は、これからが本番です。19春闘前進に向けて頑張りましょう。

全労連の19春闘5つの重点構え

- ①大幅賃上げと最賃闘争に全力
- ②アベ「働き方改革」の総反撃
- ③改憲発議は絶対させない
- ④消費税10%への増税反対
- ⑤要求と組織拡大の結合

統一要求

賃上げ要求

月額25,000円以上、時間額150円以上

最低賃金要求

時間額1,000円以上、日額8,000円以上
月額176,000円以上

底上げ要求

全ての働く人々の底上げを実現し、
時給1000円未満の人をなくす

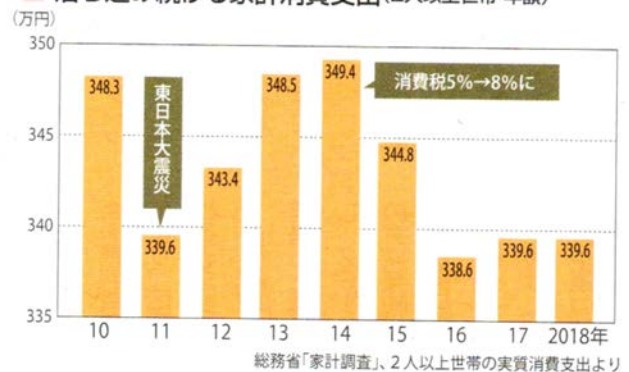
時間外労働

時間外労働の上限は、週15時間、月45時間
年365時間とすること

インターバル規制

勤務時間インターバルは、24時間について11時間以上とすること。
深夜勤務や変則勤務の場合は、労働時間を短縮すること

落ち込み続ける家計消費支出(2人以上世帯・年額)



広がり続ける最低賃金の地域間格差



内部留保と平均賃金

(資本金10億円以上、保険・金融業除く)



ひょうごぎ

すくなひこなしんじや
少彦名神社

金融労連西日本事



務所のある大阪市中央区道修寺町に、地元で長く親しまれている健康の神様・薬の神様を祀る神社があると聞き、会議の昼休み時間にお参りしてきました。少彦名神社は、日本の薬祖神である少彦名命と、中国医薬の祖神・神農炎帝をご祭神としており、「神農さん」とも呼ばれています。大阪の土産として人気の「張子の虎」は当神社の病除けのお守りです。

そのためか、製薬会社や薬品会社のオフィスが通りの両側に多く、武田薬品工業、塩野義製薬、田辺三菱製薬の本社があります。

年のせい、ここ数年病院通いが絶えませんが、

今年は健康に気を

付けて、

いろいろ

行動した

ものです。

